Creative Enzymes®

ネイティブ哺乳類ユビキチン結合酵素分画

Cat. No. NATE-0727

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ユビキチン結合酵素は、プロテアソームによる分解のためにタンパク質を標的とするユビキチン化反□の第二段階を実行します。ユビキチン化プロセスは、76アミノ酸からなる短いタンパク質であるユビキチンを、標的タンパク質のリジン残基に共有結合的に付加します。タンパク質が1つのユビキチン分子でタグ付けされると、追加のユビキチン化のラウンドがポリユビキチン鎖を形成し、これはプロテアソームの19S調節粒子によって認識され、ATP依存的な標的タンパク質の展開を引き起こします。これにより、プロテアソームの20Sコア粒子への通過が可能になり、そこでプロテアーゼが標的を短いペプチド断片に分解し、細胞によるリサイクルのために利用されます。
用途	ユビキチン結合酵素分画は、活性化されたユビキチンをE1から基質に転送する際に、追加の高エネルギーのチオールエステル中間体E2-S-ユビキチンを介して使用されることがあります。ユビキチン結合酵素は、E2酵素としても知られ、より稀にユビキチンキャリア酵素とも呼ばれ、プロテアソームを介してタンパク質を分解するためのユビキチン化反□の第二段階を実行します。
別名	ユビキチン結合酵素; ユビキチン結合酵素分画; E2酵素; ユビキチンキャリア酵素

製品情報

由来	哺乳類の

保管・発送情報

保存方法	−70°C